(昭和五十八年新寮記念寮歌

心の宿よいざさらば 今こそ我も旅立ちの時いまかれたがだったとき 原始の森に消え去りぬげんしょりょう すがしき朝の光と風は 北に恵めし若き日の夢 いつかは壊れゆくものか

北の原野を流離い行けば

昔の光偲ばずや 今も変らぬその涼風にいまかり 淡き花影さゆらぎぬ

あわ はなかげ

果てなく夢は何処までも 流れる雲に孤り謳えば

> 誠の迪を貫かん 功利し多きこの人の世に 色めく空を憂い眺んいる されど遙けき今樺太のいまサハリン うち寄す波は静かなり 北を望みし岬に立てば

> > 竹中秀文君 作曲

大崎益孝君

作歌